平成27年度

湯沢砂防だより

No24.
平成27年９月１１日
国土交通省　湯沢砂防事務所

大学生が中山間地に果たす砂防の役割を学ぶ

キャンプ砂防in南魚沼2015

を実施しました

砂防について大学で学ぶ学生が、砂防事業の意義と中山間地域及びそこに生活する人々に対して果たす砂防の役割を、地元の人々との共同作業や生活を通じて体験的に学ぶことにより、砂防に対する認識を深め今後の土砂災害防止の推進に役立てることを目的として実施しました。

岩手、鹿児島県の大学から2名が参加し、８月２４日（月）～８月２８日（金）の５日間の行程で、ｷｬﾝﾌﾟ砂防を行いました。

1　砂防事業を学ぶ

砂防学習①：南魚沼市を中心に平成23年7月新潟・福島豪雨の被害状況と砂防の役割について学びました。

姥沢川第2号砂防堰堤

NHK　新潟日報、FMゆきぐにから取材を受けました

高棚川渓流保全工

南魚沼市議会議員の阿部さんに現地に同行していただき災害時の状況についてお話を伺いました。

平成23年新潟福島豪雨災害状況、砂防施設計画の考え方を学びました。

北ノ入川河道閉塞部

UAVによる調査実演を行い、災害時のUAVの利用について考えました。

UAV＝無人航空機

砂防学習②：長岡市山古志地区を中心に、新潟県中越地震によって発生した今も残る河道閉塞や地域生活に砂防が果たす役割などを学びました。

木籠水没地区

河道閉塞による水没地区の説明

東竹沢河道閉塞

FMながおかの取材を受けました

西願寺川河道閉塞

堰堤上流に今も残る河道閉塞

西願寺川砂防堰堤

地域の生活を守る砂防堰堤

受注者の技術者から直接お話しを伺い、工事完成までの間には、苦労が幾つもあることを学びました。

2　地域の生活を学ぶ

地域学習①：新潟県中越地震で被災した長岡市山古志地区の災害状況と復興への歩みを学びました。

やまこし復興交流館「おらたる」

山古志の災害発生時の状況や、現在に至るまでの復興への取り組みを学びました。

地域学習②：平成23年新潟・福島豪雨で砂防堰堤が果たした役割を学び、米どころ南魚沼市で農業体験を行いました。

うおぬま倉友農園

砂防を含む防災事業への期待についてと、第6次産業としての取り組みをお話しいただきました。

農業体験

倉友農園の方々と一緒に草刈りを行いました。

地域学習③：平成23年新潟・福島豪雨により土石流が発生した登川流域の源流調査を行いました。

登川流域源流調査

3　課題研究発表

●キャンプ砂防で学んだ成果として「地域の安全・安心の確保と共に、地域の活性化や防災力向上のために砂防ができること」について発表しました。

キャンプ砂防で地域の方々と実際にふれあい温かく接していただきました。
このような地域の特性や砂防施設などの資源を活かし、フットパスという取り組みが有効ではないかと思われます。

地域の安全・安心を確保するためには、砂防を含めた防災対策の必要を感じました。
ハードだけではなくハザードマップの活用等ソフト対策も重要であると考えます。

キャンプ砂防の運営にご理解とご協力いただいた南魚沼市長井口様、南魚沼市議会議員阿部様、清水区長小野塚様、南魚沼市様、長岡市山古志支所様、並びにうおぬま倉友農園様、砂防工事現場での講師の皆様、旅館「上田屋」様、民宿「たなか」様に感謝申し上げます。大変ありがとうございました。